

地域再生計画評価調書(地方創生推進交付金事業効果検証調書)

地域再生計画の名称	稼ぐ力を創出するスポーツと文化による地域活性化事業	地域再生事業の名称	稼ぐ力を創出するスポーツと文化による地域活性化事業	令和3年度評価
-----------	---------------------------	-----------	---------------------------	---------

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

評価指標	基準年数値	目標数値、実績値及び目標数値に対する達成度						達成度についての分析	
			2018年 (平成30年)	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)		最終年目標数値 2022年(令和4年)
目標1 社会減の縮小	3,247 人	目標	-400 人 (2,847) 人	-400 人 (2,447) 人	-450 人 (1,997) 人	-500 人 (1,497) 人	-500 人 (997) 人	-2,250 人 (997) 人	目標1の社会減の縮小数については、令和3年は、653人の改善が見られ、単年度の目標値を上回った。このうち、約3割が20歳から24歳のこれまで転出超過が顕著であった年代であった。大都市圏からの若者世代の移住者が増加したことが、主な要因と考える。 目標2の県外からの移住者数については、前年度比2450人増加の4,910人と単年度の目標値を大きく上回り、過去最多となった。20代・30代の移住者が5割を超え、東京・大阪圏からの移住者が約半数を占めるに至った。大都市圏の若年層を中心に、移住先としての本県の魅力が浸透するとともに、コロナ禍においても、デジタルを活用して切れ間ない、情報発信を続けたことが、移住者増加の要因と考える。
		実績	+816 人 (4,063) 人	+171 人 (4,234) 人	-1,059 人 (3,175) 人	-653 人 (2,522) 人	人 人	-72 人 (3,175) 人	
		達成度	-204%	-42.8%	235.3%	130.6%		3.2%	
目標2 県外からの移住者数	1,085 人	目標	+223 人 (1,308) 人	+223 人 (1,531) 人	+400 人 (1,931) 人	+420 人 (2,351) 人	+420 人 (2,771) 人	+1,686 人 (2,771) 人	目標3の観光入込客数については、令和3年の観光客数は16,353千人と推定され、前年から830千人(4.8%)の減少。このうち、県外観光客数は6,583千人(前年比-5.7%)、県内観光客数は9,770千人(前年比-4.2%)。減少については、新型コロナウイルス感染症による、外出自粛および、施設の休業等の影響によるものと考えられる。 目標4の観光消費額については、39億円と推定され、上記要因の影響で、前年比-38億円(-4.3%)となった。支出項目別でみると、宿泊費で22億円、土産品購入費で6億円、域内交通費で5億円の減少であった。
		実績	+630 人 (1,715) 人	+194 人 (1,909) 人	+551 人 (2,460) 人	+2,450 人 (4,910) 人	人 人	+1,375 人 (2,460) 人	
		達成度	282.5%	87.0%	137.8%	583.3%		81.6%	
目標3 観光入込客数	26,999 千人	目標	+387 千人 (27,386) 千人	+387 千人 (27,773) 千人	+400 千人 (28,173) 千人	+410 千人 (28,583) 千人	+410 千人 (28,993) 千人	+1,994 千人 (28,993) 千人	目標4の観光消費額については、39億円と推定され、上記要因の影響で、前年比-38億円(-4.3%)となった。支出項目別でみると、宿泊費で22億円、土産品購入費で6億円、域内交通費で5億円の減少であった。
		実績	-1,607 千人 (25,392) 千人	+1,249 千人 (26,641) 千人	-9,458 千人 (17,183) 千人	-830 千人 (16,353) 千人	千人 千人	-9,816 千人 (17,183) 千人	
		達成度	-415.2%	322.7%	-2,364.5%	-202.4%		-492.3%	
目標4 観光消費額	1,125 億円	目標	+24.4 億円 (1,149) 億円	+24.4 億円 (1,174) 億円	+25.0 億円 (1,199) 億円	+25.2 億円 (1,224) 億円	+25.2 億円 (1,249) 億円	+124.2 億円 (1,249) 億円	目標4の観光消費額については、39億円と推定され、上記要因の影響で、前年比-38億円(-4.3%)となった。支出項目別でみると、宿泊費で22億円、土産品購入費で6億円、域内交通費で5億円の減少であった。
		実績	+8 億円 (1,133) 億円	+41 億円 (1,174) 億円	-297 億円 (877) 億円	-38 億円 (839) 億円	億円 億円	-248 億円 (877) 億円	
		達成度	32.8%	168.0%	-1,188%	-150.8%		-199.7%	

評価年度において実施した事業

事業名	スポーツによる稼ぐ力と地域の魅力創出事業	総合戦略における位置づけ	基本目標:3. だれもが訪れたいと感じる魅力あふれるふるさとを創る 具体的施策:(イ)スポーツのまちづくり 取組:③スポーツツーリズムの推進	事業費	300千円
事業概要	<p>(愛媛県実施事業)</p> <p>野球イベントの開催やオールスターゲームの機運醸成、野球大会への支援等を通じて、競技人口の拡大及び競技力の向上を図るとともに、交流人口の増加による地域経済の活性化を目指す。 ○ 令和3年6月に、被災地域を中心とした高校による交流試合を実施。また、野球経験のない子どもたちに向け野球体験イベントを実施した。 ○ 次年度開催のオールスターゲーム開催に向け、フレッシュオールスターゲームの開催や全県を挙げた機運醸成策を実施した。</p> <p>(今治市実施事業)</p> <p>今治市は、スポーツ大会・合宿の誘致活動やスポーツ団体と連携した商店街などにおけるスポーツイベントの開催を促進するため、愛・野球博実行委員会(事務局:愛媛県)への負担金を提出した。 同実行委員会は、「令和2年度愛・野球博野球イベント開催支援事業」により、県内の住民グループ、NPO、企業及び民間団体等による継続的かつ自主的な野球・ソフトボール等を活用したイベントの開催を促進し、「野球王国・愛媛」の認知度の向上、「野球の聖地」としての地位の確立、野球人口の拡大、競技力の向上等を図るため、野球等を活用したイベントを開催する住民グループ等に対し、補助金を交付している。 今治市においては、同補助金を活用の上、オリジナル今治タオルの作成や防球ネット、ミスト扇風機を整備することにより、競技力の向上及び利用者の環境改善を図るとともに、令和3年12月に野球イベント「～えひめチャレンジキッズパーク2021～in今治」を開催し、オールスターゲーム開催に向けた市内の機運醸成策を実施した。</p>				
事業効果	<p>県及び市町、経済団体、スポーツ団体などで組織する「愛・野球博実行委員会」のもと、文化・スポーツの両面から野球をテーマとした各種イベントや合宿の誘致、アマチュア団体と連携した野球大会、プロスポーツとタイアップした野球ファンづくりや野球募集めなどに取り組むことにより、2022年7月に開催されるオールスターゲームの機運醸成や、野球大会への支援等を通じて、競技人口の拡大及び競技力の向上を図るとともに、交流人口を増加させることができた。</p>				

評価及びそれを受けての市の方針

外部有識者による評価	議会からの意見	今後の方針、改善点など
<p> <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない <input type="checkbox"/> コロナウイルス感染症の影響で満足の得られる結果ではない項目もみられるが、概ね効果があったのではないだろうか。コロナが収まれば様々な企画をして今治に来てもらい、今治のすばらしさをアピールする場を設けていけばよいと思う。 <input type="checkbox"/> 今後の旅行は、見て食べてだけでなく、現地ならではの体験や学習がより求められている。より多様な企業や市民団体との旅コラボが生まれ、今治に来てもらうことを期待している。市民にも見える形にして頂き市民の地元再発見にもなれればと思う。 <input type="checkbox"/> 近年はスポーツを楽しむ人が多く、スポーツイベントを開くのであれば、市民が訪れるスポーツ用品店とタッグを組んでPRに取り組むといいと思う。 <input type="checkbox"/> サッカースタジアムの経済効果などは、長期的な視野が必要でかつ、単純に短期的な定量的なKPIだけでは測れない要素があると思う。FO今治の存在意義は地域的にも子どもたちにも大きいと思うので、引き続き応援している。 <input type="checkbox"/> 県外移住者の増加は喜ばしいことだが、今後永続的に今治市で生活していけるよう支援策も必要かと思う。 </p>	<p>特段の指摘なく了承された。</p>	<p>2022年7月にプロ野球オールスターゲームの愛媛県開催が決定した。2022年度においては、令和3年度に実施できなかった東京六大学野球オールスターゲームが開催されるなど、交流人口の拡大が期待できるイベントの実施を計画している。地方球場としては史上初となる3回目のオールスターゲームの開催により競技人口の拡大、競技力の向上、交流人口の拡大による地域活性化等を図るとともに、愛・野球博事業のレガシーとして、愛媛の野球文化を、次世代に継承していく。</p>